

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	鹿児島県	関係市町村	奄美市他11町村
事業名	水産資源環境整備事業（水産環境整備事業）		
地区名	奄美	事業主体	鹿児島県

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	—	漁場名	奄美
陸揚金額	1,202 百万円	陸揚量	1,796 トン
登録漁船隻数	— 隻	利用漁船隻数	1,717 隻
主な漁業種類	一本釣り、延縄、曳縄	主な魚種	カツオ・マグロ類、アジ類、タイ類、ブリ類、瀬物類、その他
漁業経営体数	535 経営体	組合員数	627 人
地区の特徴	奄美地区は、黒潮が群島に並行して北東方向に流れており、カツオ・マグロ等の回遊魚の他、アオダイ等の瀬物魚類の好漁場が形成され、これらを対象とした一本釣り、曳縄漁業等が営まれている。		
2. 事業概要			
事業目的	本事業は、奄美海域に来遊するカツオ・マグロ等の浮魚の他、アオダイ等の生息環境を整備することにより、これらの魚類の蛸集や滞留性を高め、効率的な操業条件の確保及び生産性の向上による持続的な漁業生産を確保することを目的とする。		
主要工事計画	浮魚礁：23基、魚礁：11,868空 ^m		
事業費	1,436百万円	事業期間	H24～H28

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
	本事業では、平成24年に事前評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。外海離島である当該地区においては輸送費が燃料や資材に上乗せされることから、漁業コストの上昇が経営を圧迫しており、生産者が浮魚礁や魚礁の操業コスト削減効果を一段と重視することを踏まえて評価を行った。
2. 事業効果の発現状況	
	浮魚礁の周辺では、蛸集したカツオ・マグロ類を対象とした曳縄漁業、沿岸カツオ一本釣り漁業、旗流し漁業等が行われ、漁場探索時間が削減されるなどの操業の効率化が図られた。また、漁船漁業において3割程度であった浮魚礁漁場からの漁獲割合は、中層型浮魚礁の利用拡大により5割を浮魚礁漁場からの漁獲量が占め、水産物の生産基盤として重要性が増している。 人工魚礁の周辺では、カンパチ、アジ類、タイ類等を対象にした一本釣り漁業等が行われ、漁場の探索時間の削減等の操業の効率化、漁獲量の確保による経営の安定化、漁港から近く季節風などの影響を受けにくいことから安全性の向上に貢献している。
3. 事業により整備された施設の管理状況	
	浮魚礁については、法令に基づく定期点検、監視システム等による日常監視を実施するとともに、緊急事態に対応したマニュアルを整備している。 魚礁については、地元漁協、市町村等で組織する奄美地区人工魚礁管理運営協議会に管理を委託し、管理規程に基づき適切に施設の維持管理が図られた。

4. 事業実施による環境の変化				
対象種の生息環境が確保されており、魚類の産卵育成機能や餌料生物の増加による水産資源の増殖効果及び対象種以外の水産資源の増加効果も確認された。				
5. 社会経済情勢の変化				
当該地区における、平成20年の漁業経営体数は818経営体で、平成30年には535経営体に減少しているが、水産業が地域の重要な役割を果たしていることに変わりはない。				
6. 今後の課題				
本事業で整備した浮魚礁については耐用年数が10年であることから、的確に施設状況を把握し、計画的な施設更新を行うことにより、生産性の高い浮魚礁漁場の維持を図る必要がある。また、水産生物の生活史に対応した生息環境の整備による資源回復を図るため、資源管理等と連携した効果的な漁場整備が重要となっている。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成24年評価時の 費用便益比B/C	1.28	現時点の B/C	1.90	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業では、奄美地区における効率的な操業条件の確保及び生産性の向上を目的に、浮魚礁23基と魚礁11,868空m³の整備を行った。

これにより、離島漁業における漁業生産コストの削減に大きく寄与していることが確認され、費用対効果分析も1.0を超えており、経済効果についても確認された。

以上の結果から、本事業は当該地区の漁業経営の安定に寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められた。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

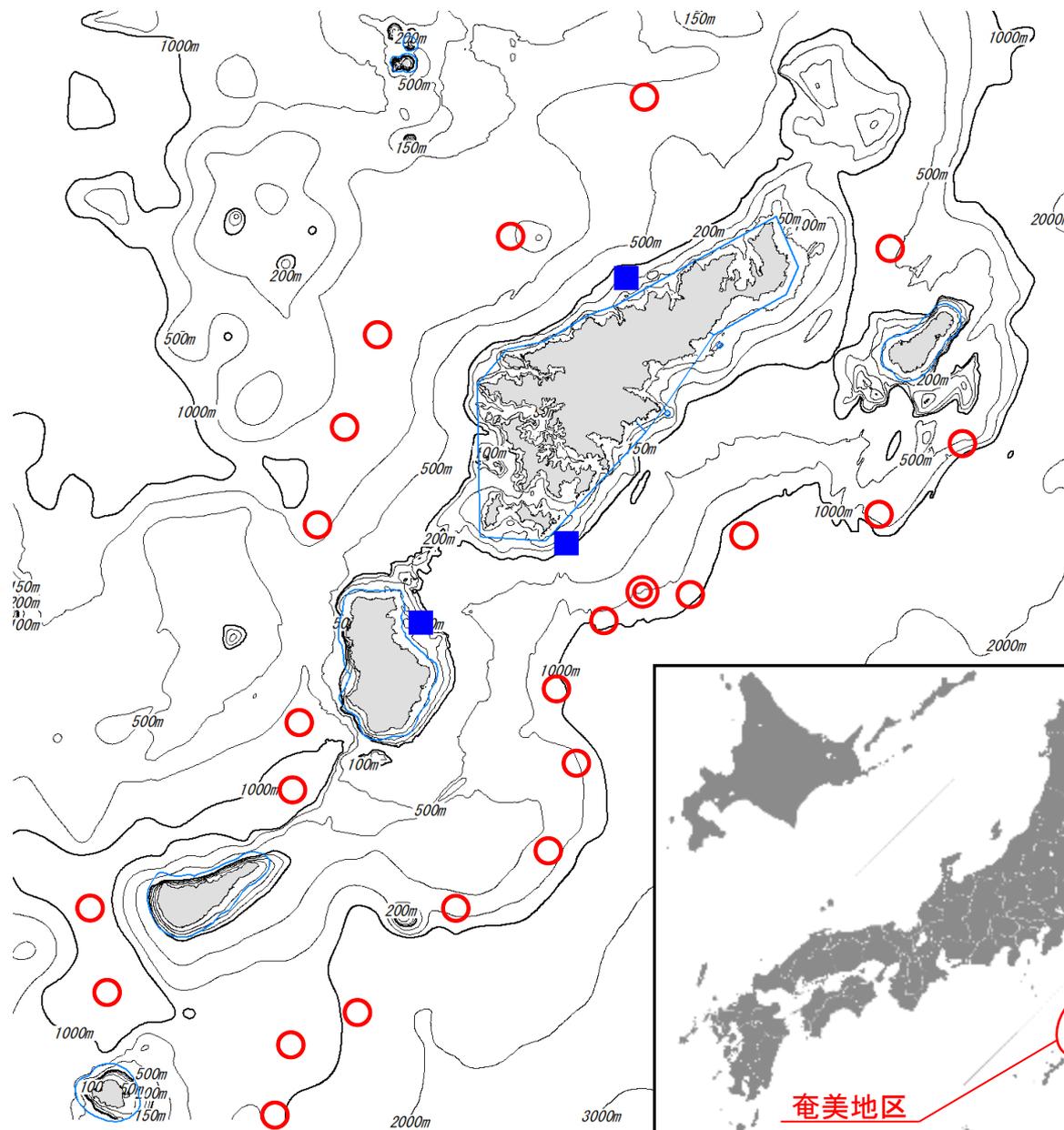
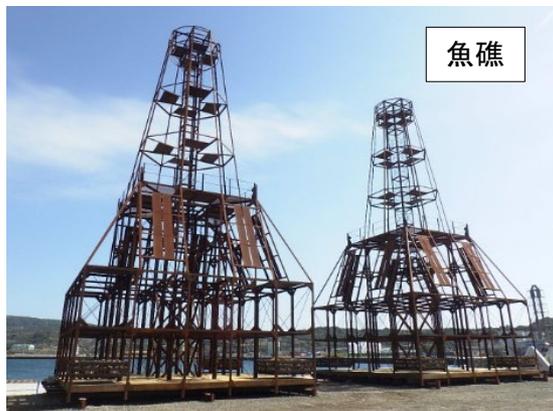
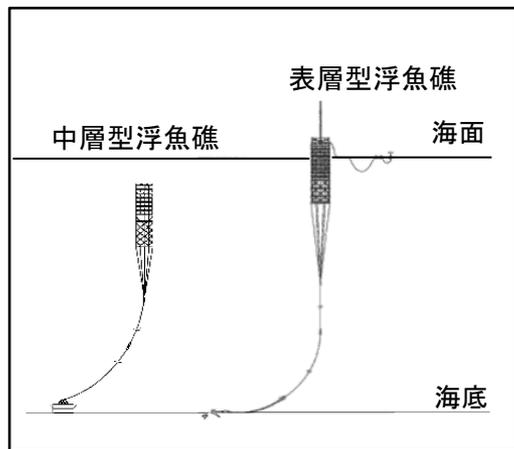
都道府県名	鹿児島県	地区名	奄美
事業名	水産環境整備事業	施設の耐用年数	浮魚礁10年 魚礁30年

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	4,118,378
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			90,741	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	4,209,118	千円
総費用額（現在価値化）		C	2,219,914	千円
費用便益比		B / C	1.90	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・浮魚礁の老朽化対策による漁獲量の回復効果
- ・魚礁が有する魚類の産卵育成機能による水産資源の増殖効果及び対象種以外の水産資源の増加効果



事業主体: 鹿児島県

主要工事:

- : 魚礁 11,868 空m³
- ◎ : 表層型浮魚礁 1 基
- : 中層型浮魚礁 22 基

事業費: 1,436百万円

事業期間: 平成24年度~平成28年度

奄美地区 水産環境整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的： 本事業は、奄美海域に來遊するカツオ・マグロ等の浮魚の他、アオダイ等の生息環境を整備することにより、これらの魚類の増集や滞留性を高め、効率的な操業条件の確保及び生産性の向上による持続的な漁業生産を確保することを目的とする。
- (2) 主要工事計画： 浮魚礁(表層型) 1基 浮魚礁(中層型) 22基
魚礁 11,868 空³m
- (3) 事業費： 1,436 百万円
- (4) 工期： 平成24年度～平成28年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和2年5月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(令和4年7月改訂 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	2,219,914 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	4,209,118 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.90

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
浮魚礁(表層型)	1 基	150,679
浮魚礁(中層型)	22 基	992,886
魚礁	11,868 空 ³ m	292,390
計		1,435,955
維持管理費等		10,500
総費用(消費税込)		1,446,455
内、消費税額		90,692
総費用(消費税抜)		1,355,763
現在価値化後の総費用		2,219,914

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額(千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		363,816	・浮魚礁整備による労働時間の削減, 燃油費の削減
漁獲可能資源の維持・培養効果		3,910	・生産量の増加効果
計		367,726	

(4) 総便益算出表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレ レート ②	費用 (千円)			便益 (千円)			割引後 効果額合計 (千円) ①×④
				事業費 (維持管理費含 む) ③	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費含 む) ①×②×③	水産物生産コ ストの削減効 果	漁獲可能資源の 維持・培養効果	計 ④	
-11	H23	1.539	1.259	0	0	0	0	0	0	0
-10	H24	1.480	1.215	434,879	414,170	744,760	0	0	0	0
-9	H25	1.423	1.220	190,170	181,114	314,425	138,353	0	138,353	196,877
-8	H26	1.369	1.167	326,399	302,221	482,835	198,667	0	198,667	271,975
-7	H27	1.316	1.147	280,790	259,991	392,444	238,524	2,680	241,205	317,425
-6	H28	1.265	1.147	206,737	191,423	277,746	316,994	3,126	320,120	404,952
-5	H29	1.217	1.117	1,050	972	1,321	363,816	3,910	367,726	447,523
-4	H30	1.170	1.082	1,050	972	1,230	363,816	3,910	367,726	430,239
-3	R1	1.125	1.053	1,050	963	1,141	363,816	3,910	367,726	413,692
-2	R2	1.082	1.037	1,050	955	1,072	363,816	3,910	367,726	397,880
-1	R3	1.040	1.000	1,050	955	993	363,816	3,910	367,726	382,435
0	R4	1.000	1.000	1,050	955	955	363,816	3,910	367,726	367,726
1	R5	0.962	1.000	460	418	402	225,463	3,910	229,373	220,657
2	R6	0.925	1.000	360	327	302	165,149	3,910	169,059	156,380
3	R7	0.889	1.000	260	236	210	125,292	3,910	129,202	114,860
4	R8	0.855	1.000	100	91	78	46,822	3,910	50,732	43,376
5	R9	0.822	1.000				0	3,910	3,910	3,214
6	R10	0.790	1.000				0	3,910	3,910	3,089
7	R11	0.760	1.000				0	3,910	3,910	2,972
8	R12	0.731	1.000				0	3,910	3,910	2,858
9	R13	0.703	1.000				0	3,910	3,910	2,749
10	R14	0.676	1.000				0	3,910	3,910	2,643
11	R15	0.650	1.000				0	3,910	3,910	2,542
12	R16	0.625	1.000				0	3,910	3,910	2,444
13	R17	0.601	1.000				0	3,910	3,910	2,350
14	R18	0.577	1.000				0	3,910	3,910	2,256
15	R19	0.555	1.000				0	3,910	3,910	2,170
16	R20	0.534	1.000				0	3,910	3,910	2,088
17	R21	0.513	1.000				0	3,910	3,910	2,006
18	R22	0.494	1.000				0	3,910	3,910	1,932
19	R23	0.475	1.000				0	3,910	3,910	1,857
20	R24	0.456	1.000				0	3,910	3,910	1,783
21	R25	0.439	1.000				0	3,910	3,910	1,716
22	R26	0.422	1.000				0	3,910	3,910	1,650
23	R27	0.406	1.000				0	1,230	1,230	499
24	R28	0.390	1.000				0	784	784	306
25	R29	0.375	1.000				0	0	0	0
26	R30	0.361	1.000				0	0	0	0
計				1,446,455	1,355,763	2,219,914	3,638,160	117,300	3,755,460	4,209,118

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

当該地区におけるカツオ・マグロ類の効率的な漁業を支えてきた浮魚礁が耐用年数を経過したことからこれの更新を行い、操業の効率性を維持した。

1) 浮魚礁整備による労働時間の削減

①浮魚礁整備による漁場探査時間の削減に伴う労働時間の削減

区分		備考																																																						
1出漁当たりの減少航行時間 (h) ①	4.0	調査日：令和4年5～7月 調査対象：奄美大島地区関係漁協																																																						
利用者数 (戸) ②	135	奄美地区人工魚礁管理運営協議会の浮魚礁利用登録経営体数 (令和4年5月現在)																																																						
漁労単価 (円/h) ③	2,294	H28～R2農林水産統計漁業経営調査報告より算出 東シナ海区 漁船漁業 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁労収入合計(千円) ①</td> <td>7,187</td> <td>6,662</td> <td>6,134</td> <td>5,745</td> <td>5,704</td> </tr> <tr> <td>漁労支出合計(千円) ②</td> <td>4,101</td> <td>3,913</td> <td>3,851</td> <td>3,675</td> <td>3,411</td> </tr> <tr> <td>収入-支出(①-②, 千円) ③</td> <td>3,086</td> <td>2,749</td> <td>2,283</td> <td>2,070</td> <td>2,293</td> </tr> <tr> <td>1年間の延べ労働時間(h) ④</td> <td>2,452</td> <td>2,353</td> <td>2,124</td> <td>1,960</td> <td>1,768</td> </tr> <tr> <td>最盛期の漁業従事者数(人) ⑤</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの年間労働時間(④/⑤, h) ⑥</td> <td>1,226.0</td> <td>1,176.5</td> <td>1,117.9</td> <td>980.0</td> <td>930.5</td> </tr> <tr> <td>時間当たりの労働単価(③/⑥×1,000, 円)</td> <td>2,517</td> <td>2,337</td> <td>2,042</td> <td>2,112</td> <td>2,464</td> </tr> <tr> <td>平均労働単価</td> <td colspan="5">2,294 円/時間</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R01	R02	漁労収入合計(千円) ①	7,187	6,662	6,134	5,745	5,704	漁労支出合計(千円) ②	4,101	3,913	3,851	3,675	3,411	収入-支出(①-②, 千円) ③	3,086	2,749	2,283	2,070	2,293	1年間の延べ労働時間(h) ④	2,452	2,353	2,124	1,960	1,768	最盛期の漁業従事者数(人) ⑤	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9	1人当たりの年間労働時間(④/⑤, h) ⑥	1,226.0	1,176.5	1,117.9	980.0	930.5	時間当たりの労働単価(③/⑥×1,000, 円)	2,517	2,337	2,042	2,112	2,464	平均労働単価	2,294 円/時間				
	H28	H29	H30	R01	R02																																																			
漁労収入合計(千円) ①	7,187	6,662	6,134	5,745	5,704																																																			
漁労支出合計(千円) ②	4,101	3,913	3,851	3,675	3,411																																																			
収入-支出(①-②, 千円) ③	3,086	2,749	2,283	2,070	2,293																																																			
1年間の延べ労働時間(h) ④	2,452	2,353	2,124	1,960	1,768																																																			
最盛期の漁業従事者数(人) ⑤	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9																																																			
1人当たりの年間労働時間(④/⑤, h) ⑥	1,226.0	1,176.5	1,117.9	980.0	930.5																																																			
時間当たりの労働単価(③/⑥×1,000, 円)	2,517	2,337	2,042	2,112	2,464																																																			
平均労働単価	2,294 円/時間																																																							
経営体当たり平均乗組員数(人) ④	1.09	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>漁業種類</th> <th>登録隻数</th> <th>乗組員数/隻</th> <th>乗組員数</th> <th>平均乗組員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カツオ一本釣</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>15</td> <td rowspan="4">乗組員数/登録隻数</td> </tr> <tr> <td>曳き縄</td> <td>105</td> <td>1</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>一本釣(旗流し)</td> <td>27</td> <td>1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>135</td> <td></td> <td>147</td> <td>1.09</td> </tr> </tbody> </table> 漁業種類ごとの一隻当たり乗組員数は奄美地区人工魚礁管理運営協議会資料による	漁業種類	登録隻数	乗組員数/隻	乗組員数	平均乗組員数	カツオ一本釣	3	5	15	乗組員数/登録隻数	曳き縄	105	1	105	一本釣(旗流し)	27	1	27	合計	135		147	1.09																															
漁業種類	登録隻数	乗組員数/隻	乗組員数	平均乗組員数																																																				
カツオ一本釣	3	5	15	乗組員数/登録隻数																																																				
曳き縄	105	1	105																																																					
一本釣(旗流し)	27	1	27																																																					
合計	135		147		1.09																																																			
平均利用日数 (日/年) ⑤	120	調査日：令和4年5～7月 調査対象：奄美大島地区関係漁協 調査実施者：鹿児島県職員 調査実施方法：ヒアリング調査																																																						
当該地区浮魚礁整備基数 ⑥	23	当該地区には23基の浮魚礁を整備																																																						
1基当たりの年間便益額 (千円/年) ⑦	7,044.8	①×②×③×④×⑤/⑥/1,000																																																						
年間便益額 (千円/年)	162,029	⑦×(表層 1 基+中層 22 基)																																																						

2) 浮魚礁整備による燃料費の削減

①浮魚礁整備による漁場探査時間の削減に伴う燃料費の削減

区分		備考																																																				
1出漁当たりの減少航行時間 (h) ①	4.0	調査日：令和4年5～7月 調査対象：奄美地区関係漁協 調査実施者：鹿児島県職員 調査実施方法：ヒアリング調査																																																				
利用者数 (戸) ②	135	奄美地区人工魚礁管理運営協議会の浮魚礁利用登録経営体数 (令和4年5月現在)																																																				
平均利用日数 (日/年) ③	120	調査日：令和4年5～7月 調査対象：奄美地区関係漁協 調査実施者：鹿児島県職員 調査実施方法：ヒアリング調査																																																				
時間当たり燃料費 ④	3,114	H28～R2県漁船統計等より算出 奄美地区の浮魚礁利用者は、漁船規模3～19トンであるため、県漁船統計より奄美地区における3～5トン、5～10トン及び10～20トン漁船の平均的な馬力数を割り出し、浮魚礁利用漁船の平均的な燃費を算出した。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">一本釣り</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>3～5トン</th> <th>5～10トン</th> <th>10～20トン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁船登録数(隻) ①</td> <td>183</td> <td>59</td> <td>17</td> <td>H28～R2県漁船統計(奄美地区)</td> </tr> <tr> <td>登録総馬力(ps) ②</td> <td>20,140</td> <td>11,222</td> <td>6,133</td> <td>H28～R2県漁船統計(奄美地区)</td> </tr> <tr> <td>1隻当たり馬力数(②/①, ps) ③</td> <td>110.05</td> <td>190.20</td> <td>360.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>標準燃料消費率(kg/ps・h) ④</td> <td>0.170</td> <td>0.170</td> <td>0.170</td> <td>ガイドライン-参考資料-より</td> </tr> <tr> <td>油料重量(軽油)(kg/㎡) ⑤</td> <td>820</td> <td>820</td> <td>820</td> <td>ガイドライン-参考資料-より</td> </tr> <tr> <td>燃油単価(免稅軽油, 円/ℓ) ⑥</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>H28～R2県漁船統計(奄美)</td> </tr> <tr> <td>時間当たり燃油費(③×④×⑤×⑥×1,000) ⑦(⑦/③) ⑦'</td> <td>2,486.97</td> <td>4,298.13</td> <td>8,152.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>浮魚礁利用登録隻数(隻) ⑧、⑧'、⑧''</td> <td>101</td> <td>28</td> <td>6</td> <td>浮魚礁利用漁船登録簿より</td> </tr> <tr> <td>浮魚礁利用者の時間当たり平均燃油費(⑦×⑧+⑦'×⑧'+⑦''×⑧'')/(⑧+⑧'+⑧'')</td> <td colspan="3">3,114 円/h</td> </tr> </tbody> </table>		一本釣り			備考	3～5トン	5～10トン	10～20トン	漁船登録数(隻) ①	183	59	17	H28～R2県漁船統計(奄美地区)	登録総馬力(ps) ②	20,140	11,222	6,133	H28～R2県漁船統計(奄美地区)	1隻当たり馬力数(②/①, ps) ③	110.05	190.20	360.76		標準燃料消費率(kg/ps・h) ④	0.170	0.170	0.170	ガイドライン-参考資料-より	油料重量(軽油)(kg/㎡) ⑤	820	820	820	ガイドライン-参考資料-より	燃油単価(免稅軽油, 円/ℓ) ⑥	109	109	109	H28～R2県漁船統計(奄美)	時間当たり燃油費(③×④×⑤×⑥×1,000) ⑦(⑦/③) ⑦'	2,486.97	4,298.13	8,152.40		浮魚礁利用登録隻数(隻) ⑧、⑧'、⑧''	101	28	6	浮魚礁利用漁船登録簿より	浮魚礁利用者の時間当たり平均燃油費(⑦×⑧+⑦'×⑧'+⑦''×⑧'')/(⑧+⑧'+⑧'')	3,114 円/h		
	一本釣り			備考																																																		
	3～5トン	5～10トン	10～20トン																																																			
漁船登録数(隻) ①	183	59	17	H28～R2県漁船統計(奄美地区)																																																		
登録総馬力(ps) ②	20,140	11,222	6,133	H28～R2県漁船統計(奄美地区)																																																		
1隻当たり馬力数(②/①, ps) ③	110.05	190.20	360.76																																																			
標準燃料消費率(kg/ps・h) ④	0.170	0.170	0.170	ガイドライン-参考資料-より																																																		
油料重量(軽油)(kg/㎡) ⑤	820	820	820	ガイドライン-参考資料-より																																																		
燃油単価(免稅軽油, 円/ℓ) ⑥	109	109	109	H28～R2県漁船統計(奄美)																																																		
時間当たり燃油費(③×④×⑤×⑥×1,000) ⑦(⑦/③) ⑦'	2,486.97	4,298.13	8,152.40																																																			
浮魚礁利用登録隻数(隻) ⑧、⑧'、⑧''	101	28	6	浮魚礁利用漁船登録簿より																																																		
浮魚礁利用者の時間当たり平均燃油費(⑦×⑧+⑦'×⑧'+⑦''×⑧'')/(⑧+⑧'+⑧'')	3,114 円/h																																																					
当該地区浮魚礁整備基数 ⑤	23	当該地区には23基の浮魚礁を整備																																																				
1基当たりの年間便益額 (千円/年) ⑥	8,773	①×②×③×④/⑤/1,000																																																				
年間便益額 (千円/年)	201,787	⑥×(表層 1 基+中層 22 基)																																																				

(2) 漁獲可能資源の維持・培養効果

- ・沿岸域の生産性の向上を図るため、日帰り操業が可能な海域に魚礁設置による漁場の整備を行ったことにより漁業生産が確保された。
- ・当該地区におけるカツオ・マグロ類の効率的な漁業を支えている耐用年数が経過した浮魚礁の更新を行い、漁獲量の維持・増大に努めた。

1) 魚礁整備による生産量の増加

区分		備考																																													
魚礁規模 (空m ³)	11,868	本計画での魚礁整備規模																																													
魚礁整備地区		奄美大島(奄美, 瀬戸内), 徳之島																																													
対象魚種の増産金額(千円)	① 7,915.1	<p>○魚礁整備による対象魚種の増産金額算定</p> <p>表1 漁場整備による増産量(単位:kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>マチ類</th> <th>ハタ類</th> <th>タイ類</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①整備前5年間の平均漁獲量(kg)</td> <td>31,714.1</td> <td>3,655.3</td> <td>2,630.5</td> <td>4,487.8</td> </tr> <tr> <td>②整備後5年間の平均漁獲量(kg)</td> <td>36,329.6</td> <td>4,075.8</td> <td>3,876.2</td> <td>6,718.8</td> </tr> <tr> <td>③増産量(kg) (②-①)</td> <td>4,615.5</td> <td>420.5</td> <td>1,245.7</td> <td>2,231.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2 平均単価(円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>マチ類</th> <th>ハタ類</th> <th>タイ類</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④平均単価</td> <td>1129.1</td> <td>1849.0</td> <td>792.7</td> <td>420.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 増産金額(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>マチ類</th> <th>ハタ類</th> <th>タイ類</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤増産金額 (③×④/1000)</td> <td>5,211.4</td> <td>777.5</td> <td>987.5</td> <td>938.7</td> </tr> <tr> <td>⑥合計</td> <td colspan="4">7,915.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典: 県水産技術開発センターTACシステム収集データ(奄美、名瀬、瀬戸内、徳之島)</p>		マチ類	ハタ類	タイ類	その他	①整備前5年間の平均漁獲量(kg)	31,714.1	3,655.3	2,630.5	4,487.8	②整備後5年間の平均漁獲量(kg)	36,329.6	4,075.8	3,876.2	6,718.8	③増産量(kg) (②-①)	4,615.5	420.5	1,245.7	2,231.0		マチ類	ハタ類	タイ類	その他	④平均単価	1129.1	1849.0	792.7	420.8		マチ類	ハタ類	タイ類	その他	⑤増産金額 (③×④/1000)	5,211.4	777.5	987.5	938.7	⑥合計	7,915.1			
	マチ類	ハタ類	タイ類	その他																																											
①整備前5年間の平均漁獲量(kg)	31,714.1	3,655.3	2,630.5	4,487.8																																											
②整備後5年間の平均漁獲量(kg)	36,329.6	4,075.8	3,876.2	6,718.8																																											
③増産量(kg) (②-①)	4,615.5	420.5	1,245.7	2,231.0																																											
	マチ類	ハタ類	タイ類	その他																																											
④平均単価	1129.1	1849.0	792.7	420.8																																											
	マチ類	ハタ類	タイ類	その他																																											
⑤増産金額 (③×④/1000)	5,211.4	777.5	987.5	938.7																																											
⑥合計	7,915.1																																														
漁業変動経費率	② 0.506	平成28年～令和2年漁業経営調査報告より算出																																													
年間便益額(千円/年)	③ 3,910	①×(1-②)																																													